



手術前の禁煙について

釧路赤十字病院では、安全に手術を受けていただくため、手術前4週間以上の禁煙が守られていない場合は、原則として麻酔科管理手術を延期または中止いたします。

紙巻きたばこだけでなく、**電子たばこ・加熱式たばこを含むすべての喫煙製品**が禁煙の対象です。
「本数を減らす（減煙）」ではなく、**完全な禁煙**をお願いします。

小児患者さんにつきましては、ご家族の喫煙による受動喫煙を避けるため、禁煙または分煙へのご協力をお願いします。

安全な手術のため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

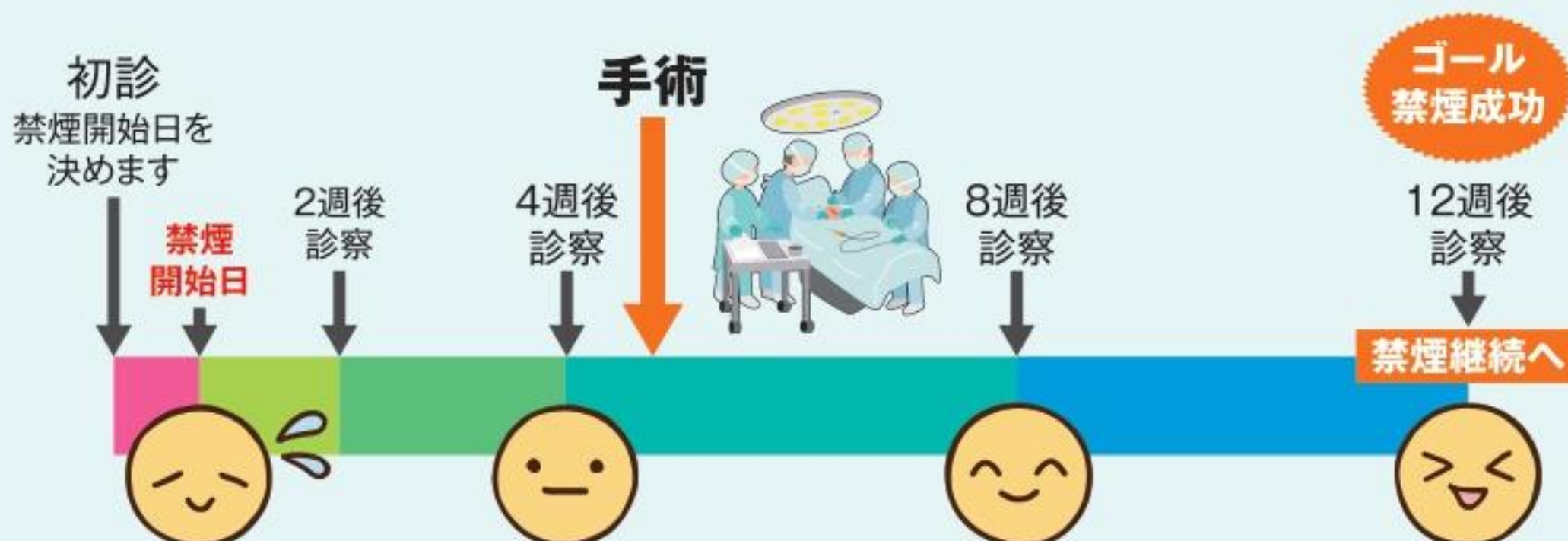
手術の予定が決まったら

1. 手術のために禁煙しますと宣言しましょう。
2. タバコと灰皿を片づけましょう。
3. タバコを勧められそうな状況は避けましょう。
4. 禁煙が難しそうなら、**禁煙外来**を紹介してもらいましょう。

保険診療でより効果的に楽に禁煙を!



禁煙外来では禁煙補助薬や禁煙治療アプリが処方され、
医師と看護師からアドバイスが受けられます。



入院期間は12週間の保険診療期間に含まれません。

加熱式タバコも禁煙保険治療の対象です。

**あなたが禁煙を考えているなら、
手術を受ける時こそ最良の機会です!**

手術を受けられる喫煙者の方へ

手術前には、まず

1ヶ月以内の禁煙が守られていない場合は、
手術延期や手術術式の変更の可能性、
麻酔を行うことができない可能性があります



禁煙



☑ point1

喫煙は手術の合併症を増やし、傷の治りも悪くします。

☑ point2

禁煙はいつから始めても合併症を減らす効果があり、早いほど有効です。

☑ point3

禁煙は手術後も継続することで、病気の経過を改善します。

☑ point4

受動喫煙も手術経過に有害です。家族が手術なら禁煙しましょう。



公益社団法人 日本麻酔科学会
周術期禁煙推進ワーキンググループ監修

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-2 神戸キメックセンタービル3階

喫煙と手術の関係

喫煙者は、非喫煙者より術後合併症が多くなります。



喫煙の危険性

脳卒中

痰の増加
肺炎

心筋梗塞
心不全

傷の治りの遅れ
傷の感染

骨癒合の遅れ

死亡率増加



術前禁煙について正しく理解しましょう

できるだけ早くから禁煙したほうが合併症が減ります

受動喫煙も喫煙と同じ悪影響があります
手術患者の家族も禁煙しましょう

喫煙は術後の痛みを強くします

喫煙はがんの術後再発率を増加させます

本数を減らしたり、新型タバコに変えても効果はありません



新型タバコが従来のタバコよりも健康に与える影響が少ないという科学的証拠はありません。

術前禁煙の意義

禁煙開始

禁煙後の変化

20分

血圧や脈拍が正常状態に戻る



12時間

血中の一酸化炭素が正常に戻る



24時間

血中のニコチンが消失する



72時間

呼吸がしやすくなる



2週間

心臓の機能が改善する



3週間

傷の治りにくさ・傷の感染しやすさが改善する



4週間

呼吸器合併症の起こりやすさが改善する



8週間

呼吸器合併症が非喫煙者と同等になる

予定手術では、4週間以上前からの禁煙が望まれます。